

第42回ひがしかわ氷まつり

しばれ到来、輝きひとぎわ氷彫刻

道内の冬のイベントを切っ掛けにひがしかわ氷まつりが1月16日から18日まで3日間、羽衣公園をメイン会場に開かれました。この冬最高のしばれと好天に恵まれ、雪と氷と光のアートは絶好のコンディション。休日の会場に親子連れのにぎやかな歓声が響きました。



ゲームコーナーはちびっ子で大にぎわい(1月17日)

ひがしかわ観光協会など実行委員会主催の第42回ひがしかわ氷まつりは、期間中穏やかな天候に恵まれました。寒気の到来を待ちかねていた祭り前夜祭の午後7時、花火打ち上げ時の気温は氷点下15・3度まで冷え込んで、13基の水彫刻作品に美しい輝きがひととき

わ映えました。

前夜祭の前日、15日午後10時から制作スタートした第2回北海道水彫刻東川コンクールは、東川水士会のメンバーや札幌、深川など道内13人が出場しました。

制作中、未明の最低気温は氷点下16度(午前2時)まで下がり、氷像は新年一番の凍てつく寒さに映えて見ごたえ十分。今年は今古田孝俊さん(富良野市)の作品「シャーク」が優勝しました。

雪像製作は旭川福祉専門学校のごども学科2チーム、介護福祉科など8チームが出場し、今年は16基が出来栄えを競い、同校のごども学科2年チームの「ダースベイダー」が最優秀賞を獲得しました。今年は今会場150基



水彫刻コンクール優勝「シャーク」(古田孝俊さん制作)

の雪だるまも登場しました。作つたのは、同

ごども学科と日本語学科の留学生混成チーム、町立日本語学校の留学研修生チーム。



日本語留学生らが150基の雪だるまを制作(16日前夜祭)

初めての雪だるま作りという学生も多く、雪遊びの感触を楽しんでいました。

期間中同時開催のウィンターコンサートは、東川高校吹奏楽同好会が初出演。8人編成ながら歌謡曲ナンバーなど親しみやすい曲の演奏に拍手が沸きました。

コンクール結果

第2回北海道水彫刻東川コンクール入賞者

順位	作品名	名前
優勝	シャーク	古田孝俊(富良野市)
準優勝	月夜のメロディー	佐藤寿則(札幌市)
3	飛沫	川尻修一(網走市)
4	ウインドゲート	岩田英樹(東川町)
5	齊天大聖孫悟空	高橋 満()

第42回ひがしかわ氷まつり雪像コンクール結果

順位	作品名	受賞チーム
最優秀賞	ダースベイダー	旭川福祉専門学校ごども学科2年A
優秀賞	福専レンジャー	同介護福祉科1年
//	天使を持つ人	同ごども学科2年B
努力賞	スマホはボテ!	旭川ケーブルテレビ(株)
//	となりのトロ	(株)北陸銀行旭川支店
特別賞	雪だるま100基	旭川福祉専門学校日本語学科、同ごども学科
//	雪だるま50基	東川町立日本語学校研修生
団体特別賞	東川町立日本語学校研修生	
//	キトウシごども会	
//	第三地区ごども会	